

## 中高生と共に企画・実施する行事づくり「夜の児童館探検」

### 取組の背景・目的

国分寺市の各児童館で行われていた宿泊行事がコロナ禍によりできなくなってしまった中で、どうにか形を変えて行事が出来ないか考えた結果、お泊りではなく日帰りで夜の非日常的な児童館を体験してもらう「夜の児童館探検」が令和4年に誕生した。

企画当初は児童館に来館する中高生が何か面白いことがやりたいという意見から漠然としたイメージで進んでいったが、いろんな意見を集約するうちに企画～当日の準備・進行まで中高生を中心にまとまっていき、4年目の今では中高生だけでなく、小学生も企画から参加してみたいという大人気の行事となった。

### 取組の概要

国分寺市から指定管理者として児童館の運営を委託されている労働者協同組合ワーカーズコープが自主事業として実施している。

今年は11月29日(土)午後6:00～8:00に実施。児童館の通常開館中に児童館1階の一部と2階全体を使用した。

今回のコンセプトは小学生のアンケートや意見に多くあった「泣くほど怖い児童館」という事でかなり怖いものになるように仕掛けに工夫を凝らし、その中を決められたミッションをクリアして脱出するゲーム形式とした。毎週土曜日の中高生タイム(中高生行事)や別日に遊びに来る中高生にどういう風にしたら怖くなるのか職員が意見を聞き取り、中高生と共に行事を組み立てていった。(ただ怖くしすぎて利用者が児童館に行くのがトラウマにならないよう匙加減を考えるのが今回最大の悩みどころだった)



夜の児童館探検ポスター

## 工夫点・留意点

児童館遊戯内を仕切るのにワイヤーと黒の日除けビニールを使用。例年に比べて、通路をより複雑にするためにワイヤーの本数を増やすのだが壁にワイヤーを引っ掛けるフックの数が少なく、ワイヤーにワイヤーを組み合わせてその上からビニールをかぶせるなどした。

また児童館は通常開館中のため、出来るだけ時間ギリギリまで遊戯室を子どもたちが普段通りに使えるようにしたため、当日の準備時間が2時間ない状態で行わなければならない、事前準備をかなり前から始めて当日はほぼ設置する作業のみで終わるようにした。



## 取組の効果

今年で開催4年目となり、前評判も高く過去最高の人数を記録。参加定員40名に対して70名近くの申込みがあった。この人数を削るのではなく、全員が楽しい時間を共有し安全に行えるようにするにはどうすれば良いか考えながら実行。最終的には幼児1名、小学生67名、中学生7名、高校生1名、大人59名の計135名がこの行事に参加。今年は初めて子どもと一緒に探検に参加する大人もいて、雰囲気を楽しむなど普段児童館を訪れない保護者に施設を知ってもらう良い機会となった。

また中高生スタッフは職員の声かけなどで集めたが、後日その活動を中学校に伝えたところ、中学校のボランティアとして学校から参加したいので是非事前に伝えてほしいと来年度の学校との関係性を深めるものともなった。

他にも行事終了後に行った打上げを兼ねた中高生行事「中高生スペシャル」では中高生参加者の間で引継ぎが行われるなど中高生同士の関係を深める結果となった。

## 課題・今後の展開

大がかりな準備を必要とするため、職員もほぼ全員が出勤して関わり、中高生スタッフを集めてそれぞれの意見を聞いてまとめあげるなど苦労はあるが、今回の行事参加者の中で来年中学生になる子どもたちから次はスタッフとして参加してみたいとの声も多く、児童館と子どもとの関係を深める恒久的な行事としてまだまだ可能性はあると思うのでこれからも続けていきたい。